

第 73 回早稲田社会学会大会プログラム

一般研究報告 (11:00～12:00)

報告者：

武内保 (早稲田大学) 「集合的記憶論において「記憶力とはなにか」

松井怜雄 (早稲田大学) 「組織成員の組織からの逃走困難性という問題——理論仮説
とその問題点の提示」

司会：中村雄輝 (早稲田大学)

シンポジウム (13:30～17:00)

テーマ：東日本大震災後 10 年間の被災地、住民と社会学：住まいと生活を中心に

報告者：

野坂真 (早稲田大学) 「岩手県における津波被災者の復興感とその背景にある生活状
況の経年変化—大槌町における 10 年間の応急仮設住宅・災害公営住宅全入
居者への継続調査の結果を中心に—」

内田龍史 (関西大学) 「宮城県における災害公営住宅供給と被災住民の生活の回復」

川副早央里 (東洋大学) 「原発事故被災地域における住宅と生活の再建」

討論者：

秋田典子 (千葉大学)

祐成保志 (東京大学)

司会：石倉義博 (早稲田大学)

※ シンポジウムの主旨説明については、学会ニュース第 57 号 (2021 年 4 月 28 日発
行) をご覧ください。

http://www.waseda.jp/assoc-wss/news_57_2021_4.pdf

総会 (17:00～)

総会には早稲田社会学会会員のみご参加いただけます。

※ 記録のため、本大会は録画させていただきます。ご了承のほどお願いいたします。